

1

多様な主体からの地域課題の相談（課題の把握）

- 産学官金等の多様な主体からの地域課題の相談（主なチャネルは以下のとおり）
 - ・ 地域課題解決支援チームメンバーのネットワーク（官・金が交流する有志の集まり等）
 - ・ 霞が関ダイアログ（※1）等の各種セミナーを通じたネットワーク
 - ・ 金融庁と環境省との連携チーム（※2）ほか、各府省庁とのネットワーク
 - ・ 地域ダイアログの参加者を通じた紹介



ネットワーク形成（霞が関ダイアログ）

2

「地域ダイアログ」への参加（課題解決に向けた学び）

- 産学官金等の関係者が、地域課題解決に向けた事例・方策を一緒に学ぶ場
 - ・ 各機関の情報共有
 - ・ 先進事例や関連施策の情報共有
 - ・ 地域のネットワークづくり
 - ・ 地域課題の明確化



地域ダイアログの様子

3

「地域ダイアログ」の深化（課題解決に向けた具体的な動き）

- 明確化された課題や方策について解決に向けた検討を行う場
 - ・ 地域課題解決に向けた企画・仕組みの検討
 - ・ 関係各所への提案・働きかけ



課題解決に向けた議論

4

「地域ダイアログ」の自走化（取組みの定着）

- 各地域の関係者による地域課題解決に向けた「地域ダイアログ」の継続的な実践

※1. 「霞が関ダイアログ」とは、各府省庁の施策担当者とその施策に関心を持つ金融機関や地方公共団体等の担当者が直接対話する場。

※2. 「金融庁と環境省との連携チーム」とは、令和3年3月、持続可能な地域経済社会の活性化に向けて、両省庁の知見やノウハウを持ち寄り、地域課題解決に向けたネットワーク構築支援等に取り組むことを目的に発足したチーム。
正式名称「持続可能な地域経済社会の活性化に向けた金融庁と環境省との連携チーム」。